

学習内容報告書 フォーマット

学校名	かまいしこども園
授業者	主幹保育教諭 澤田利子 すなどり舎 齋藤孝信氏

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

サケの学習を通して育む郷土愛と釜石の DNA の継承

1-2. 学年

年長

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

環境(自然・地域・文化)・健康(食育・生命)

1-4. 単元の概要

身近なサケに実際に触れ、親しみ、食べて知ることで、サケを取り巻く海やその周りの環境を知る。自分たちの町の文化を知ることで郷土愛と釜石の DNA を継承する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

身近な魚のサケをもっと深く知ることと、サケ(魚)がどのように私たちの食卓に来るのか、漁獲の方法や、市場の様子など見たことのないことを学ぶことを通して、海の様子や生命の尊さ、海で働く人の重要性を感じてもらう。
また、海にもっと親しみ、興味を持ってもらうことで、海の環境を守っていく意識を高められるようにする。近くの海にたくさん魚がいて、それを獲る漁師さんも近くにいることを知ってもらう。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

海という自然とのかかわりや生命の尊重、自分たちの郷土への興味や関心、地域の人や外部の人とのかかわりを通して、学びに向かう姿勢をはぐくむ。

1-7. 単元の展開 (全 7時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>6月23日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県水産技術センターにて、サケや釜石の海に関することについて学ぶ。 ・サケの一生についての話を聞く。 ・4年後、川に戻ってきた成魚のサケはどのくらいの大きさ? ・釜石の海で獲れた魚を飼育している水槽を見学し説明を聞く。 	<p>教師の指導/サケについて園児と一緒に学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、海の色や海の味、海のおいしさ、海の生き物などについてクラスで話し、興味を持てるようにした。 ・「海洋環境保全教室」(釜石海上保安部による) <p>6月11日(金)海をきれいにすること、海の生き物がゴミを食べてしまうことを学んだ後だったので、そのことを思い出しながら話を聞くよう伝える。</p> <p>主な評価/市内にある「水産技術センター」に出かける機会を利用し、水産技術センター職員とすなどり舎の齋藤氏とともにサケについて教えていただけるよう事前に連携を図ったのでスムーズに実施できた。</p> <p>外部連携/岩手県水産技術センター すなどり舎 齋藤氏</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・釜石魚市場の朝の様子を撮影する。 <p>早朝のため職員5名で見学・撮影を行い、編集して子どもたちに見せることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月4日(月)5:50分から ・釜石水産農林課より説明 ・職員のスマホで撮影 <p>定置網漁船が接岸するところ、魚を水揚げするところ、魚を仕分けするところ、競りをするところ、トラックに魚を積むところなどを撮影する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影データを外部に委託し編集する。 	<p>主な評価/園児が直接見ることができないため、市場の様子をうまくカメラに収めるのに、場所を変えて、4代のスマートフォンで収めた。早朝ではあったが、職員も、釜石にいながら身近なところでたくさん人の手が関わっていること、温暖化で漁獲量が減少していることを知ることができた。</p> <p>とても勉強になった。</p> <p>釜石魚市場に職員集合</p> <p>参加職員:金子事務局長・藤原園長・澤田主幹保育教諭・小笠原保育教諭・芳賀保育教諭</p> <p>外部連携 / 岩手大学 田村氏、すなどり舎 齋藤氏 釜石市水産農林課 加藤氏</p> <p>使用教材等/スマートフォンで撮影</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・12月16日(木)10:00~12:00 <p>かまいしこども園ホール・園庭にて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サケに触れる。 ・サケをさばく。 	<p>教師の指導 / 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数に制限を設けたり、計画を立てたりする中で、日程の調整が取れず「サケの料理を食べる(漁協女性部)」はできなかったため、すなどり舎の齋藤</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・サケの生態について学ぶ。 ・サケのクッキング <p>(NHK, 岩手朝日放送、岩手日報、三陸ブロードネットの取材)</p>	<p>氏、岩手大学の田村氏と一緒に当園の藤井栄養士がサケを使ったクッキングを行った。</p> <p>主な評価/栄養士と担任とでメニューを考え、子ども達が（サケのコロッケと塩焼き）楽しく作り、おいしく食べられるようにできたので良かった。</p> <p>外部連携 / すなどり舎 齋藤氏 岩手大学 田村氏</p> <p>使用教材等/サケ(オス・メス) サケの生態のスライド</p>
2	<p>令和4年1月27日(木) かまいしこども園ホールにて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定置網について学ぶ。(動画) <p>釜石湾漁業協同組合員で定置網の乗組員でもある、当園保護者の菅野崇氏に、定置網での漁の様子の動画を見ながら説明してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場の様子(動画) <p>すなどり舎の齋藤氏より、職員が事前に撮った市場の朝の様子(入港～荷下ろし～選別～競り)の動画を見ながら説明してもらおう。</p>	<p>主な評価／</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部の講師が漁師の方、そして保護者でもあるということで親しみもあり、話にも興味を持って聞くことができた。 ・ドローンや水中映像を入れた6分41秒の動画で、子どもたちだけにとどまらず、大人が見ても感動する動画が完成した。 ・日頃目にすることがない船上での食の生産現場の様子は漁師さんが格好良く見え仕事の大変さも伝わり、漁業に対するイメージが変わった。 <p>外部連携／講師：釜石湾漁業協同組合 菅野崇氏 講師：すなどり舎 齋藤氏</p> <p>使用教材等／事前に撮影してYouTubeにアップしたもの。</p>

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

サケについて関心を持つ

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>○サケの解体・クッキング 実物のサケに触れ、目の前で解体し、中からイクラや白子が出てくる様子を見る。</p> <p>普段食しているサケの表面の触り心地や、持った時の重さ、まじかに見るいくら一つ一つが卵であること、命をいただくことに感謝することを学ぶ。</p> <p>（園児の反応） サケが解体されると、「かわいそう」という子もいたが、サケのおいしさ、だから命をいただくときに「いただきます」と感謝して食べることなど伝える。 サケのクッキングを通して、魚のおいしさ、クッキングの楽しさを学んでた。</p> <p>○市場や定置網の様子動画を見る。 定置網の中の様子やいろいろな魚が網の中に入る様子、市場に船が付き、魚を網でたくさんすくい、ベルトコンベアに流れていく様子、魚の選別、競りの様子を動画で見る。</p> <p>（園児の反応） 迫力ある海の中の魚の様子、網の中に入った珍しい魚など、齋藤氏や園の保護者である漁師の菅野氏に説明を受け、さらに興味を深めていた。</p>	<ul style="list-style-type: none">・サケについての話を事前にする事で興味や関心を持てるようにした。・海水温の上昇に伴い回帰率が著しく減少し不漁となり稚魚放流はできなかったことも伝えた。・一人ひとりがサケに触れられるよう、間近で見ることができるよう工夫する。・魚の形や、魚の色よく見ることができるよう、また、漁師の菅野氏や、齋藤氏の説明の時など動画を止める。

3. 今回の活動の自己評価

身近な魚である「サケ」について、子どもたちが知っていること以外のことが多く、興味を持てたようだ。そもそもサケがどこでとれるのか、釜石の市場ではどのようなことが行われているのかなど、知る機会がなかった子どもたちなので、市のキャッチフレーズで「魚のまち」とうたわれていても身近な感じはしなかった。しかしこのような機会を持つことで、もっと身近に感じる事ができたと思う。また、保護者でもあり、漁師でもある方をゲストに学習できたことはとても良かった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、漁協女性部の方と一緒にクッキングができなかったのは残念だが、当園の栄養士と一緒に楽しくクッキングできたのが良かった。

市場の様子や定置網の中など普段目にする事のないものを職員も一緒に見る事ができ、釜石市に暮らすものとして、この文化や環境を伝えていく良い教材ができたと感じる。

これを機会に、魚が苦手だった子も食べるようになったり、魚を残さず食べられるようになった子もいたことに驚いた。

来年度採択していただいたので、今年度の学習教材を活用して、次の年長児にも郷土愛と釜石のDNAを継承する学習を行う予定です。

4. 今後の課題

今年度作成した動画を使い、これからも釜石のサケについて学習できるようにする。

また同時に、環境の問題にも目を向けられるように職員ももっと知見を広めることが必要となる。海を汚すことだけでなく、温暖化の問題にも考えていけるようにする。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS明朝、10.5ポイント / マージン：上下端20mm、左右端16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。